

地域の医療機関と連携した臨地実習

臨地実習

学んだ知識や技術を用いて医療の現場で実践力を養います。

総合病院、リハビリテーション病院をはじめ、介護老人保健施設、特別養護老人ホームなど、様々な医療の現場で臨地実習を行います。1・2年次では早期体験実習、地域理学療法実習・地域作業療法実習として様々な医療現場の見学や業務についての知識・理解を深め、3・4年次ではより実践的な理学療法評価実習・作業療法評価実習、検査・測定実習(作業療法のみ)、総合臨床実習を通して現場で通用する実践力を身につけます。

臨地実習連携施設
(教育・学術連携施設)

医療法人社団 生和会 登美ヶ丘リハビリテーション病院リハビリテーション部
医療法人社団 医聖会 学研都市病院リハビリテーション科



理学療法・作業療法実習スケジュール

1年次

早期体験実習(1週間)

医療施設において理学療法・作業療法場面を早期に見学し、実践に対する理



2年次

地域実習(2週間)

訪問リハビリや通所リハビリを見学し、地域に根差した実践に対する理解を深めます。



3年次

評価実習(3週間)

3年次までに習得した知識と技術を活かし実際に評価を行い、治療計画の立案までを経験することで障害を持つ対象者を多面的に把握する能力を養いま

検査・測定実習 (1週間:作業療法学専攻のみ)

生活場면을支援する作業療法で行われる特殊な検査・測定を実際に体験し、確かな技術力を身につけます。



4年次

総合臨床実習(8週間×2回)

医療施設において、指導者とともに対象者の評価から治療までの一連の流れを経験し、理学療法士・作業療法士の実践力を養います。

主な臨地実習連携医療機関

近隣府県(奈良県・京都府・大阪等)の一般病院, 介護保険施設等